

2013年6月から2021年6月までに

テイコブラニン点滴静注による治療を受けられた方へ

当センターでは下記の臨床研究を実施しています。この研究の詳細についてお知りになりたい方は、問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の情報等をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

研究の名称

発熱性好中球減少症を発症している高齢者におけるテイコブラニンの至適投与方法の検討

研究の対象

2013年6月～2021年6月に当センターに入院し、テイコブラニン点滴静注による治療を受けられた方のうち、発熱性好中球減少症基準を満たす方

研究の期間

研究許可日から 2023年3月まで

研究の目的

テイコブラニン点滴静注用(TEIC)は MRSA 感染症の第二選択薬として広く使用されている薬剤です。TEIC の薬効を最大限に発揮させるためには、投与初期より十分な用量の TEIC を投与し、血液中の TEIC 濃度を早期に上昇させることが重要であるため、一般的な薬剤とは異なる TEIC に特化した投与方法が推奨されています。近年、癌を患われている患者様や、抗がん剤治療の影響によって体の中に侵入してきた細菌から体を守る役割をしている好中球が減少し、発熱を来している状態(発熱性好中球減少症(FN))にある患者様では、通常の投与方法では血液中の TEIC 濃度が十分に上昇しない可能性があることが指摘されています。そこで、本研究では FN 状態にある高齢患者様の血液中の TEIC 濃度がどの程度目標値を達成しているか調査し、FN 状態にある患者様に対する TEIC のより良い投与方法を検討することを目的としています。

研究の方法

上記の期間に当センターに入院し、TEIC による治療を受けられた方の背景（年齢、性別、身長、体重、原疾患など）、TEIC の投与状況（投与量、投与期間、

研究 - 参考書式 1

TEIC 血中濃度など）検査結果（腎機能検査、肝機能、栄養状態など）のデータを電子カルテより収集します。調査対象となった患者様を TEIC の投与状況別に群分けし、目標血中濃度達成状況を調査するとともに、目標血中濃度を達成するための投与方法を検討します。

研究に使用する試料・情報

年齢、性別、身長、体重、原疾患、TEIC 投与時・投与期間中の Scr、BUN、AST、ALT、総蛋白、アルブミン、TEIC 投与量、TEIC 血中濃度（トラフ値）、TEIC 投与期間。

研究組織

研究責任者：東京都健康長寿医療センター薬剤科 瀧川正紀
共同研究者：東邦大学薬学部 実践医療薬学研究室 石井敏浩
東邦大学薬学部 実践医療薬学研究室 田中博之

資料の入手または閲覧、開示

この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じてあなた自身の資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報を含む場合には、資料の提供または閲覧はできません。

お問い合わせ先

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号
東京都健康長寿医療センター

連絡先：東京都健康長寿医療センター薬剤科 瀧川正紀（平日 9:00～17:00）
03-3964-1141（内線：2018）